

だい じ く る め し 第5次久留米市

こ どくしょかつどうすいしんけいかく あん こ よう 子どもの読書活動推進計画(案) ~子ども用~



くるめしこどもの読書 活動推進計画ってなに?

こどもたちが地域や学校など
で本と出会い、読書をもっと楽し
むための計画です。読書をきっかけ
に、心が豊かに過ごせるよう
に、いろいろな取り組みをしていく
ことを目標としています。



いつまでの計画なの?

れいわ ねん がつ れいわ ねん
令和8年4月から令和13年
3月までの5年間です。



だれのための計画なの?

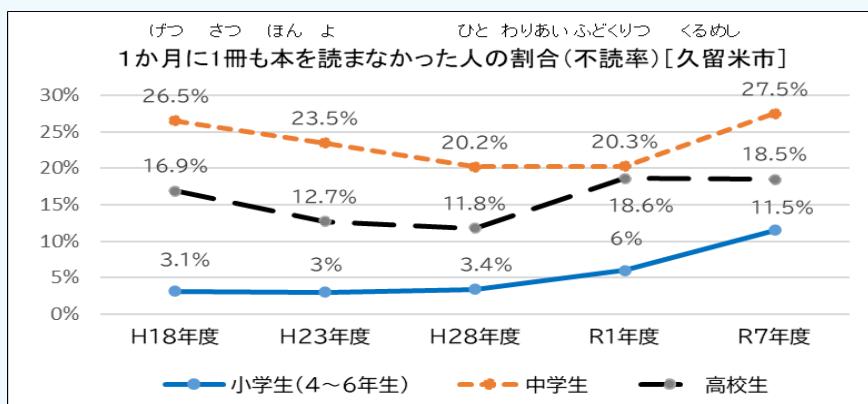
くるめし す あか
久留米市に住んでいる赤ちゃん
から、おおよそ18歳までの子ども
たちの計画です。



計画はどうやってつくっ たの?

しょうがくせい こうこうせい
小学生から高校生のみなさん
ほごしゃ と保護者のみなさんにアンケート
やインタビューで意見を聞きました。
また、学校や保育所・幼稚園
せんせい としょかん かか
の先生、図書館に関わっている
ボランティアや団体のみなさんと
はなあ 話し合ってつくりました。

★読書のアンケートの結果、小学生では、1か月に1冊も本を読まなかった人が
11.5%、1クラス(35人)で計算するとおおよそ4人いることになります。



○久留米市では、すべての子どもたちの身近な場所に本があり、心に残る本

と出会うことができるよう新しい計画をつくっています。

○新しい計画では、大切にしている3つのことを、たくさんの人と協力しながら
子どもたちに本を楽しんでもらう取り組みを考えました。

新しい計画で大切にしている3つのこと

① たくさんの人と協力して、いろいろな取り組みをします

学校では朝読やすきま時間の読書、
保育所・幼稚園などでは絵本の読み聞かせ、
図書館ではおはなし会や本を通して交流を
深めるイベントなどに取り組みます。

② 本を充実させ、本に
関わる人を増やします

その人の生活にあわせて本が読めるように
紙の本と電子書籍を充実させていきます。
地域・学校・図書館で活動する読書ボランティ
アさんを増やします。

③ すべての子どもたち
が本に親しめる方法を考えます

点字図書やししブック(わかりやすい本)など
「子どもたちが読書を楽しめるように工夫された
図書(バリアフリー図書)」を知ってもらい、
利用につながる方法を考えていきます。

◆みんなが、本を手に取り、本を好きになり、本を読むようになるには、どんなことをすればいいと思いますか。

◆みんなはどんな本を、どんなところで、誰と読みたいですか。

◆図書館でこんなことを知りたい、こんなものがあればいいなど、
みなさんが考える、いろんな楽しいことを教えてください。

ご意見をお待ちしています。